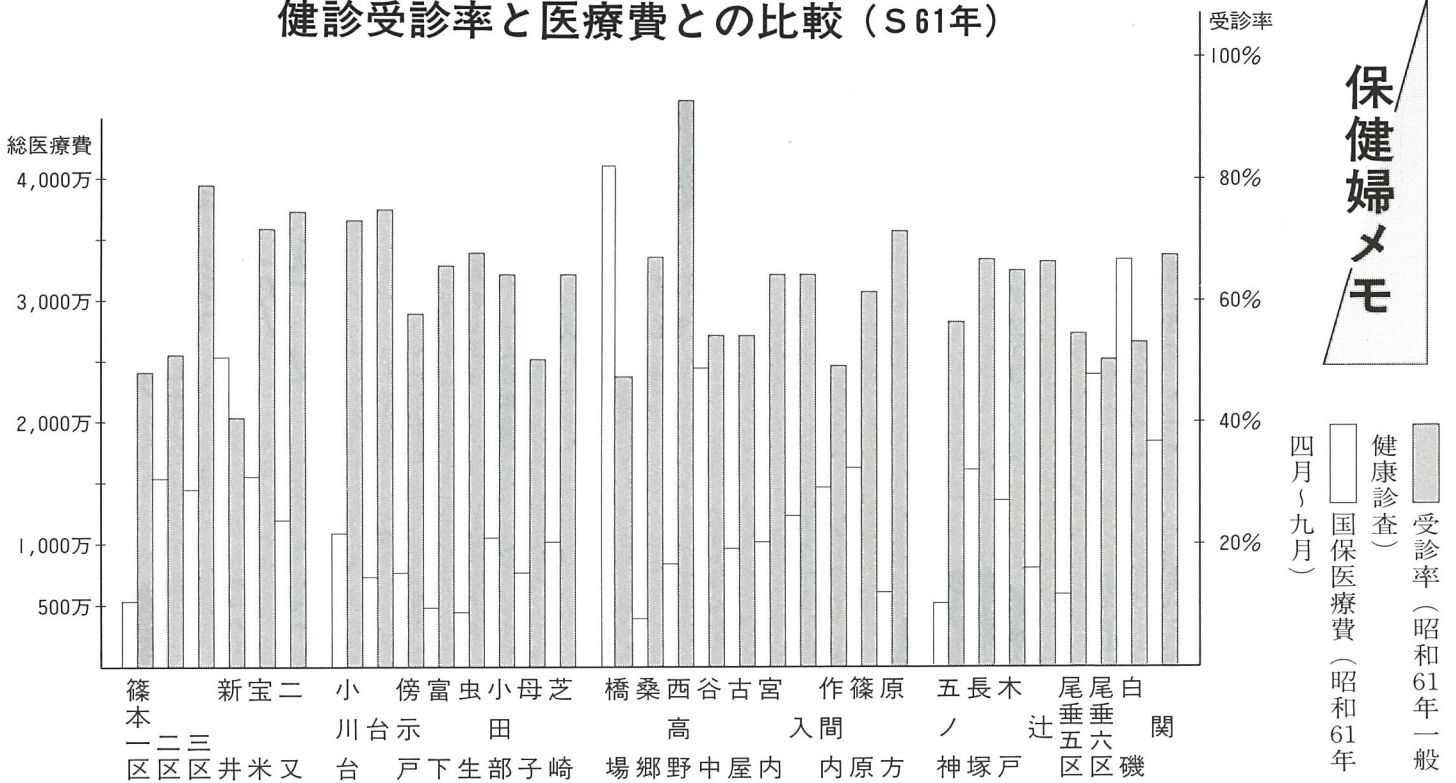


健診受診率と医療費との比較 (S61年)



保健婦メモ

受診率 (昭和61年一般健康診査)
 国保医療費 (昭和61年四月~九月)

健診受診率と医療費

新年度に入り、保健センターでも、さっそく五月に胃がん検診が始まります。七月には婦人科、乳がん検診、九一〇月には一般健康診査、住民検診が行なわれます。みんなでさそって受けてはいかがでしょうか。定期検診は、病気の予防、早期発見をし、「自分の健康は自分で守りましょう。」という目で実施しています。しかし、成人病、慢性疾患などが増え、毎年医療費は増大するばかりです。

そこで、検診を受けている地区とあまり受けていない地区の医療費がどのようになっているか調べてみました。

受診率の高い西高野、二又、台などは比較的医療費が少く、橋場、新井、谷中、白磯などの医療費の多い地域は受診率が低いように思われます。これは、検診により早期発見、早期治療の成果ではないかと思われます。若い時から定期検診を受け、自分の健康をしっかり守っていきましょう。

|| 福祉 ||

重度障害者医療費助成

身体障害者手帳の交付を受けた一・二級の重度障害者、あるいは、更生相談所及び児童相談所において、知能指数(IQ)三十五以下の重度精神薄弱者と判定された者が申請により助成の対象となります。

○ 手続 重度障害者(児)医療費受給資格者証交付申請
 必要なもの

○ 身体障害者手帳あるいは療育手帳
 ○ 住民票抄本

受給資格者証の交付を受けると医療保険における自己負担分を一時病院等に支払い、領収証を発行してもらい、住民福祉課へ届けの医療費受領証明書に医療機関の証明を受け、領収証を添付して申請します。後日、立替えた医療費が支給されます。

町民会館で文化講演会

6月28日 午後 1時30分から

講師 木元 教子先生
 演題 「親離れ 子離れ」

